

2017年度入試直前動向③～私立大入試のトピック～

河合塾

2016/12/21

今号では、2017年度入試における私立大の注目点を紹介する。私立大では来春も学部新設、キャンパス移転などの変更が多くみられるほか、大規模私立大を中心とした入学定員の変動にも注目したい。以下、詳細をお伝えする。

■医療系・国際系で目立つ学部の新設

私立大では、2017年度も多くの大学で学部の新設が予定されている。とくに医療系と国際系の分野での新設が目立つ。

医療系では、2016年度の東北医科薬科大に続き、2年連続での医学部新設となる国際医療福祉大が注目される。国際的に活躍できる医師の育成を目指しており、4週間以上の海外臨床実習が必須となっているほか、他の私立大医学科と比較して学費が低額であるという点が特徴である。今秋実施した第3回全統マーク模試における当該大志望者の併願予定大をみると、国公立大では筑波大、千葉大など、私立大では順天堂大、昭和大学、東京医科大など難関校が上位に挙がる。新設とはいえ厳しい入試が予想される。

そのほか、近年新設が続く看護系の学部・学科は2017年度も12大学で新設される予定であり、このうち岩手保健医療大、福井医療大、一宮研伸大、福岡看護大の4大学は新設の大学となっている【図表1】。これらの新設により、看護分野の入学定員は890名増となる。志望者が分散することで、既存の大学では競争の緩和が期待できそうである。

【図表1】2017年度新設予定の看護系学部・学科一覧

都道府県	大学	学部	学科	入学定員	備考
岩手	岩手保健医療	看護	看護	80	大学のnew
岩手	岩手医科	看護	看護	90	学部のnew
福島	いわき明星	看護	看護	80	学部のnew
千葉	秀明	看護	看護	80	学部のnew
千葉	東京情報	看護	看護	100	学部のnew
東京	東邦	健康科学	看護	60	学部のnew
福井	福井医療	保健医療	リハビリテーション	50	大学のnew
			理学療法学専攻	40	
			作業療法学専攻	30	
			言語聴覚学専攻	60	
愛知	一宮研伸	看護	看護	80	大学のnew
兵庫	兵庫	看護	看護	90	学部のnew*
愛媛	人間環境	松山看護	看護	80	学部のnew
愛媛	聖カタリナ大学	人間健康福祉	看護	80	学科のnew
福岡	福岡看護	看護	看護	100	大学のnew

※ 文部科学省資料より、定員は1年次入学定員

* 健康科学部看護学科募集停止

国際系の分野でも近年学部・学科の新設が続いている。2017年度は東洋大（国際観光、国際）や南山大（国際教養）などが注目される。東洋大では国際地域学部を再編し、国際観光、国際の2学部を設置する。第3回全統マーク模試における志望者の併願予定先は、国際観光学部では立教大（観光）、東海大（観光）など、国際学部では明治学院大（国際）、法政大（国際文化）などが挙がっており、異なっている。受験生が両学部の特徴を把握したうえで、志望学部を検討している様子が見えてくる。南山大（国際教養）の併願予定先は、国公立大では愛知県立大（外国語）、名古屋市立大（人文社会）、私立大では同じ南山大の外国語学部、愛知大（国際コミュニケーション）などが挙がっている。

■続くキャンパス移転—都心回帰、4年間同一キャンパスが特徴

私立大では、ここ数年キャンパス移転・新設が相次ぐ。「郊外から都市部」「4年間同一キャンパスで修学可能に」といった動きが特徴だ。キャンパスの移転・新設の動きは志願者増加に直結する。

【図表2】は、2017年度にキャンパスを移転または設置する大学の一部である。東京電機大のシステムデザイン工学部は情報環境学部を改組して誕生するが、学部の設置に合わせてキャンパスも千葉ニュータウンキャンパスから東京千住キャンパスに移転する。第3回全統マーク模試での志望者数は昨年の2倍以上となっており、とくに埼玉県、東京都、神奈川県志願者が大幅に増加している。交通の便がよい都心へキャンパスが移ることでこれらの県からも通学しやすくなるため、好意的に受け止められているとみられる。

このほか、大妻女子大（社会情報）、南山大（総合政策）、名城大（人間、都市情報）については、4年間同一のキャンパスで学ぶこととなる。これらの大学ではいずれも都市部に位置するキャンパスに集約されるということもあり、人気を集めることが予想される。

■国の定員超過抑制の強化と大学の入学定員増

国は大都市圏への学生の集中を緩和すべく、大規模私立大の入学定員数を抑制しようとしている。そのため、文部科学省は私立大学経常費補助金（以降、補助金）交付の際のルールである入学定員超過率の基準を2016年度から厳格化した。入学定員超過率が一定の基準を超えた私立大は補助金が不交付となるが、この基準を厳しくすることで、入学定員数を大学自らに抑えさせようとしている。

これにより、2016年度入試では大規模私立大において、入学定員数が入学定員を大きく超えないよう合格者数を絞り込む動きがみられた。入学定員超過率の基準は段階的に厳しくなることから、2017年度入試では合格者を出すにあたって一層慎重になる大学が出るものと予想される。

一方この抑制に対抗する形で、入学定員を増員する動きもみられる。定員増でこれまでの入学定員数を維持しようというものだ。2017年度は62の私立大学で計9,412名増員される予定となっている。これは例年の申請をかなり上回る。【図表3】は主な大学の一覧だが、増員の規模も近畿大の920名増を筆頭に大きくなっている。

以上、2016年度入試で受験生の志望動向に影響しそうな私立大のトピックについてご覧いただいた。河合塾では私立大一般入試が本格化する2月から、入試情報サイトKei-Netで主要私立大の志願者速報を提供する。最新の志願動向はそちらで確認してほしい。

【図表2】2017年度キャンパス移転・設置をする主な大学

大学(学部)	キャンパス
大妻女子(社会情報)	1・2年次:多摩、3・4年次:千代田 →4年間千代田キャンパス
津田塾(総合政策)	千駄ヶ谷キャンパス(東京都渋谷区)に新校舎開設
東京電機(システムデザイン工) ※2017年度情報環境学部より改組	千葉ニュータウンキャンパス →東京千住キャンパス
東洋(情報連携)	赤羽台キャンパス(東京都北区)を開設
南山(総合政策)	1年次:瀬戸、2~4年次:名古屋 →4年間名古屋キャンパス
名城(人間)	1年次:天白、2~4年次:ナゴヤドーム前 →4年間ナゴヤドーム前キャンパス
(都市情報)	1年次:可児(岐阜県)、2~4年次:ナゴヤドーム前 →4年間ナゴヤドーム前キャンパス
大阪工業(ロボティクス&デザイン工)	梅田キャンパスを開設

※河合塾調べ(2016年11月現在)

【図表3】2017年度入学定員増を予定する主な大学

大学	入学定員		
	2016	2017	増員数
青山学院	3,902	4,220	+318
中央	5,527	5,981	+454
東京理科	3,565	3,890	+325
東洋	6,732	7,301	+569
日本	14,760	14,869	+109
立教	4,150	4,604	+454
立命館	7,157	7,629	+472
龍谷	4,539	4,693	+154
近畿	7,050	7,970	+920

※文科省資料より